

平成 30 年 8 月 10 日  
九州地方整備局

あじさか  
**味坂スマートインターチェンジ<sup>※1</sup>が今年度新規事業化**  
～物流の効率化、周辺開発・企業誘致の促進に貢献～

高速道路の有効利用や地域経済の活性化等の効果が期待されるスマートインターチェンジ<sup>※2</sup>について、九州では、昨年度準備段階調査箇所となり検討や調整を進めていた「味坂スマートインターチェンジ（仮称）<sup>※1</sup>」が新規事業化となりました。このスマートインターチェンジの整備により、物流の効率化、周辺開発・企業誘致の促進などが期待されます。

なお、本日付けで、全国で7箇所を新規事業化し、新たに6箇所で開催段階調査を実施することになりました。

※1 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※2 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

#### ○九州管内の新規事業化箇所

- ・ 名称（仮称）：味坂スマートインターチェンジ
- ・ 連結位置：福岡県小郡市福童
- ・ 路線名：九州縦貫自動車道鹿児島線（鳥栖JCT～久留米IC間）

#### 【添付資料】

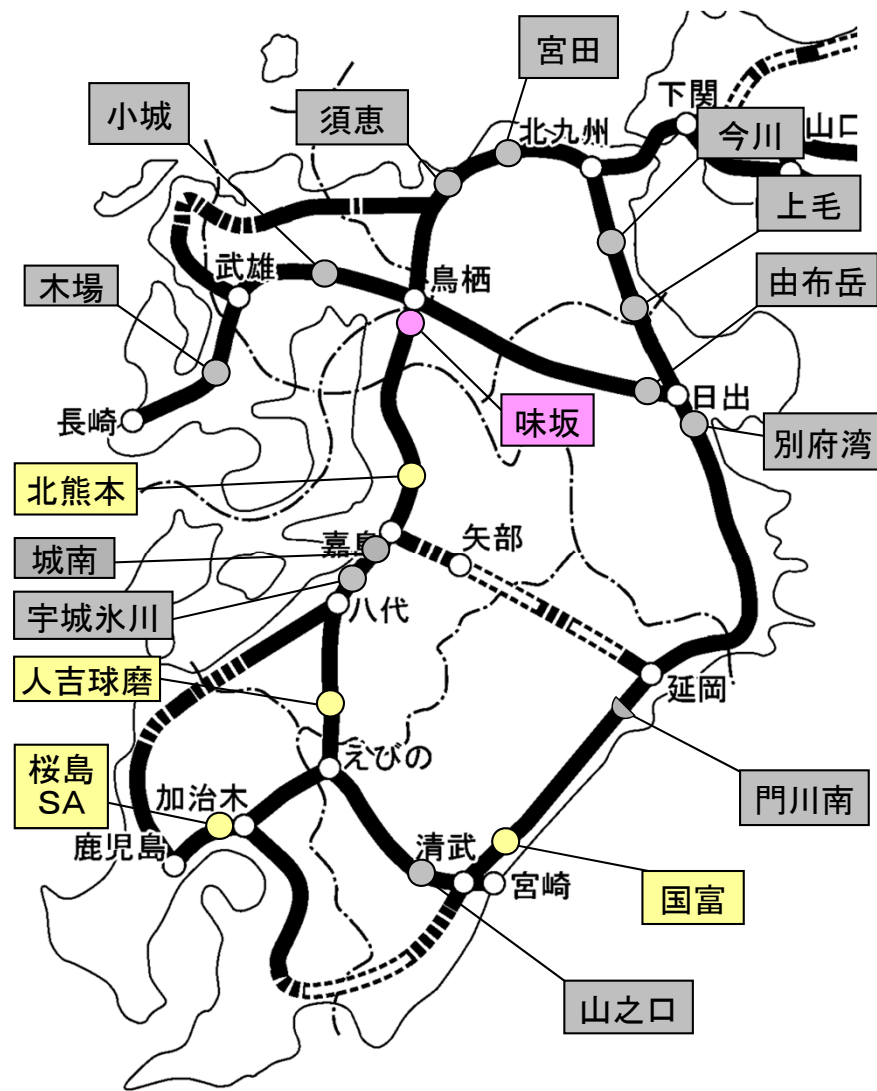
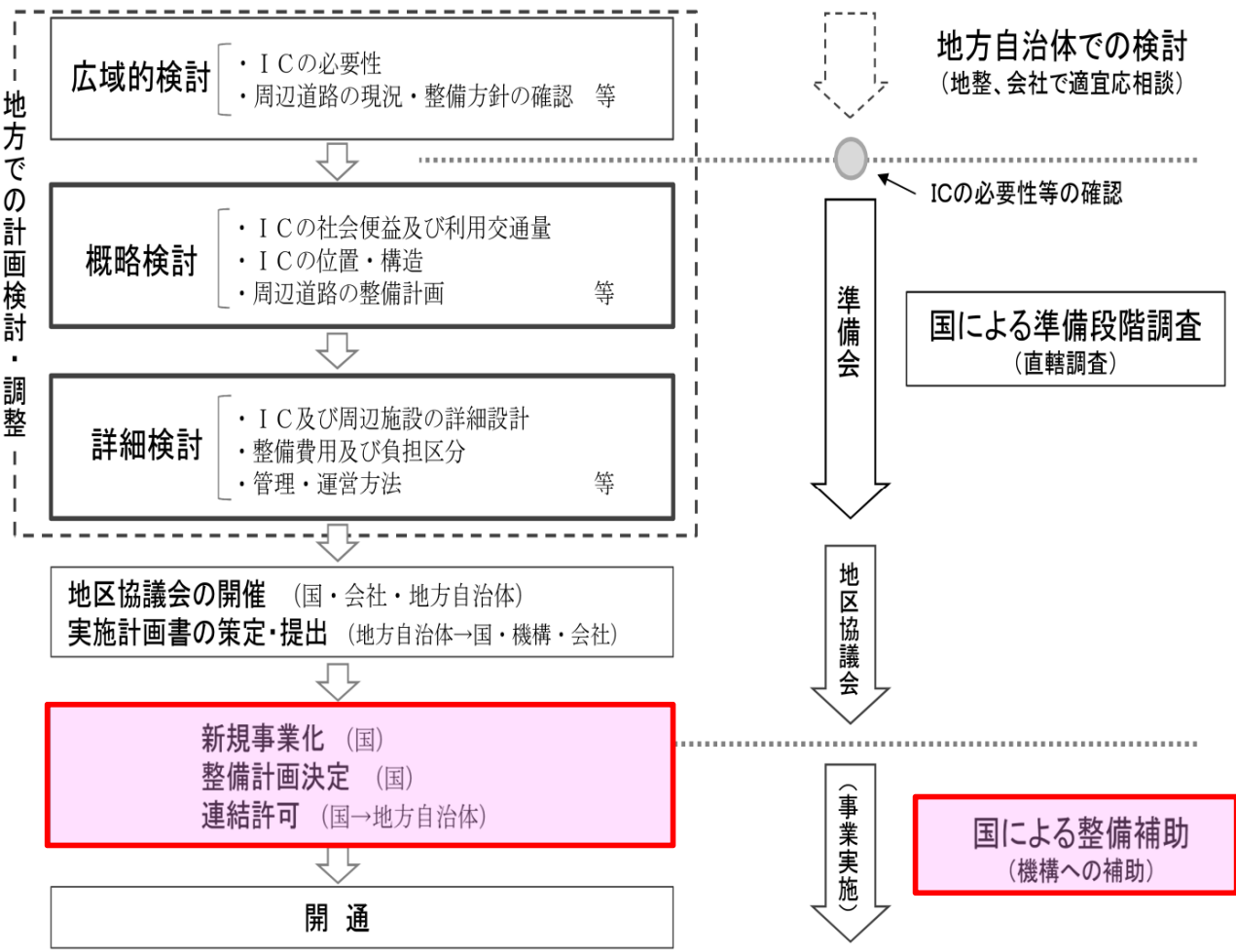
- ・ 別紙－1 スマートICの進め方／九州のスマートIC箇所図
- ・ 別紙－2 本省記者発表資料「高速道路会社への事業許可およびスマートインターチェンジの準備段階調査の採択を行いました」

#### 【問い合わせ先】

九州地方整備局 〔代表〕 092-471-6331 〔直通〕 TEL 092-476-3543  
企画部広域計画課 課長 鈴木 昭人（内線3211）  
課長補佐 坂本 淳一（内線3212）

## スマートインターチェンジの進め方

- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



【凡例】		
■ (Grey)	開通済	12箇所
■ (Yellow)	事業中	4箇所
■ (Pink)	新規事業化	1箇所

（平成30年8月10日時点）

平成30年8月10日  
道路局 高速道路課

## 高速道路会社への事業許可および スマートインターチェンジの準備段階調査の採択を行いました

本日、別紙のとおり、新東名高速道路（御殿場JCT～浜松いなさJCT）の6車線化およびスマートインターチェンジの新設について、道路整備特別措置法第3条に基づき、国土交通大臣より高速道路会社へ事業許可を行いました。

また、スマートインターチェンジについて、新たに6箇所準備段階調査への採択を行いました。

別添①：高速道路会社への事業許可等について

別添②：新東名の6車線化について

別添③：スマートインターチェンジの新規事業化について

別添④：スマートインターチェンジの準備段階調査について

参考資料①：スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

参考資料②：民間施設直結スマートインターチェンジについて

### <問い合わせ先>

国土交通省 道路局 高速道路課

（事業許可全般について）

河村（内線：30308）、小島（内線：38352）

（スマートインターチェンジについて）河村（内線：30308）、祢津（内線：38362）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

## 1. 高速道路会社への事業許可

## ① 6車線化関係

事業名		内容	事業主体
だいにとうかい 第二東海自動車道 よこはま なごや 横浜名古屋線	ごてんば 御殿場JCT～ はまつ 浜松いなさJCT	車線数の増(6車線化)	NEXCO 中日本

## ② スマートインターチェンジの新設関係

事業名		内容	事業主体
きたかんとう 北関東自動車道	みぶ うつのみやかみのかわ 壬生IC～宇都宮上三川IC	しもつけ 下野スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (下野市)
ちゅうおう 中央自動車道長野線	あずみの おみ 安曇野IC～麻績IC	ちくほく 筑北スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (筑北村)
にほんかいえんがんとうほく 日本海沿岸東北自動車道	なかじょう あらかわたいない 中条IC～荒川胎内IC	たいない 胎内スマートIC(仮称)	NEXCO 東日本 (胎内市)
ちゅうおう 中央自動車道西宮線	ひこね 彦根IC～ ことうさんざん 湖東三山スマートIC	たが 多賀スマートIC(仮称)	NEXCO 中日本 (多賀町)
しこくじゅうかん 四国縦貫自動車道	かわうち まつやま 川内IC～松山IC	とうおん 東温スマートIC(仮称)	NEXCO 西日本 (東温市)
きゅうしゅうじゅうかん 九州縦貫自動車道鹿児島線	とす くるめ 鳥栖JCT～久留米IC	あじさか 味坂スマートIC(仮称)	NEXCO 西日本 (福岡県)
きんき 近畿自動車道伊勢線	せいわたき たまき 勢和多気IC～玉城IC	たき 多気スマートIC(仮称)※	NEXCO 中日本 (多気町)

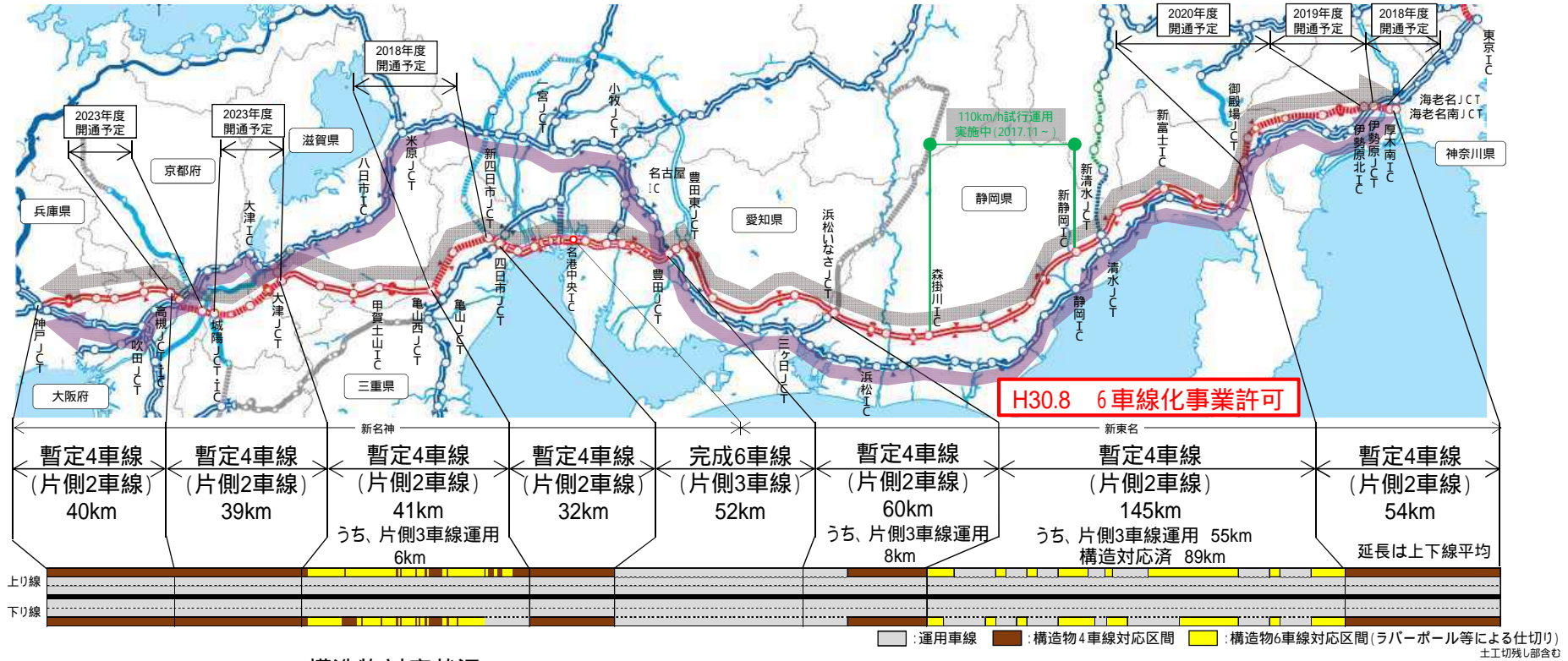
※民間施設直結スマートインターチェンジ

## 2. スマートインターチェンジの準備段階調査の採択

事業名		内容
<small>とうほくじゅうかん</small> 東北縦貫自動車道弘前線 <small>ひろさき</small>	<small>きたかみ え づりこ</small> 北上江釣子IC～ <small>はなまきみなみ</small> 花巻南C	<small>はなまき</small> 花巻PAスマートIC(仮称)
<small>とうほくちゅうおう</small> 東北中央自動車道相馬尾花沢線 <small>そうまおばなざわ</small>	<small>やまがたかみのやま</small> 山形上山IC～ <small>やまがたちゅうおう</small> 山形中央IC	<small>やまがた</small> 山形PAスマートIC(仮称)
<small>じょうばん</small> 常磐自動車道	<small>なみえ</small> 浪江IC～ <small>みなみそうま</small> 南相馬IC	<small>おだか</small> 小高スマートIC(仮称)
<small>さんよう</small> 山陽自動車道吹田山口線 <small>すいたやまぐち</small>	<small>かさおか</small> 笠岡IC～ <small>ふくやまひがし</small> 福山東IC	<small>しのさか</small> 篠坂PAスマートIC(仮称)
<small>さんよう</small> 山陽自動車道吹田山口線 <small>すいたやまぐち</small>	<small>さいじょう</small> 西条IC～ <small>しわ</small> 志和IC	<small>はちほんまつ</small> 八本松スマートIC(仮称)
<small>しこくおうだん</small> 四国横断自動車道阿南四万十線 <small>あなんしまんと</small>	<small>とよなか</small> さぬき豊中IC～ <small>おおのはら</small> 大野原IC	<small>かんおんじ</small> 観音寺スマートIC(仮称)

# 新東名の6車線化について

別添



## 構造物対応状況

	計画	供用	6車線構造対応済	
			6車線運用中	【4車線運用】
新東名	289km	237km (82%)	90km (31%)	89km (31%)
御殿場JCT ~ 浜松いなさJCT	145km	145km (100%)	55km (38%)	89km (61%)
新名神	174km	112km (64%)	28km (16%)	29km (17%)
龜山西JCT ~ 大津JCT	41km	41km (100%)	6km (15%)	29km (71%)
合計	463km	349km (75%)	118km (26%)	118km (26%)



現況写真(御殿場JCT ~ 浜松いなさJCT)

率は計画延長より算出  
 3車線運用、構造物対応済み延長は上下平均  
 四捨五入の関係で合計が合わない箇所がある  
 延長には伊勢湾岸(豊田東JCT - 四日市JCT)を含む

今回の事業許可以外の区間については、高速道路会社において必要な調査を実施

# スマートインターチェンジ※<sup>1</sup>新規事業化箇所 一覧表

別添③

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ <sup>2</sup>	連結位置	路線名	H30事業費※ <sup>3</sup>
しもつけ 下野	栃木県下野市	北関東自動車道(壬生IC～宇都宮上三川IC間)	9
ちくほく 筑北	長野県東筑摩郡筑北村	中央自動車道長野線(安曇野IC～麻績IC間)	9
たいない 胎内	新潟県胎内市	日本海沿岸東北自動車道(中条IC～荒川胎内IC間)	9
たが 多賀	滋賀県犬上郡多賀町	中央自動車道西宮線(彦根IC～湖東三山スマートIC間)	9
とうおん 東温	愛媛県東温市	四国縦貫自動車道(川内IC～松山IC間)	9
あじさか 味坂	福岡県小郡市	九州縦貫自動車道鹿児島線(鳥栖JCT～久留米IC間)	9
たき 多気※ <sup>4</sup>	三重県多気郡多気町	近畿自動車道伊勢線(勢和多気IC～玉城IC間)	—

※<sup>1</sup> スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※<sup>2</sup> スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

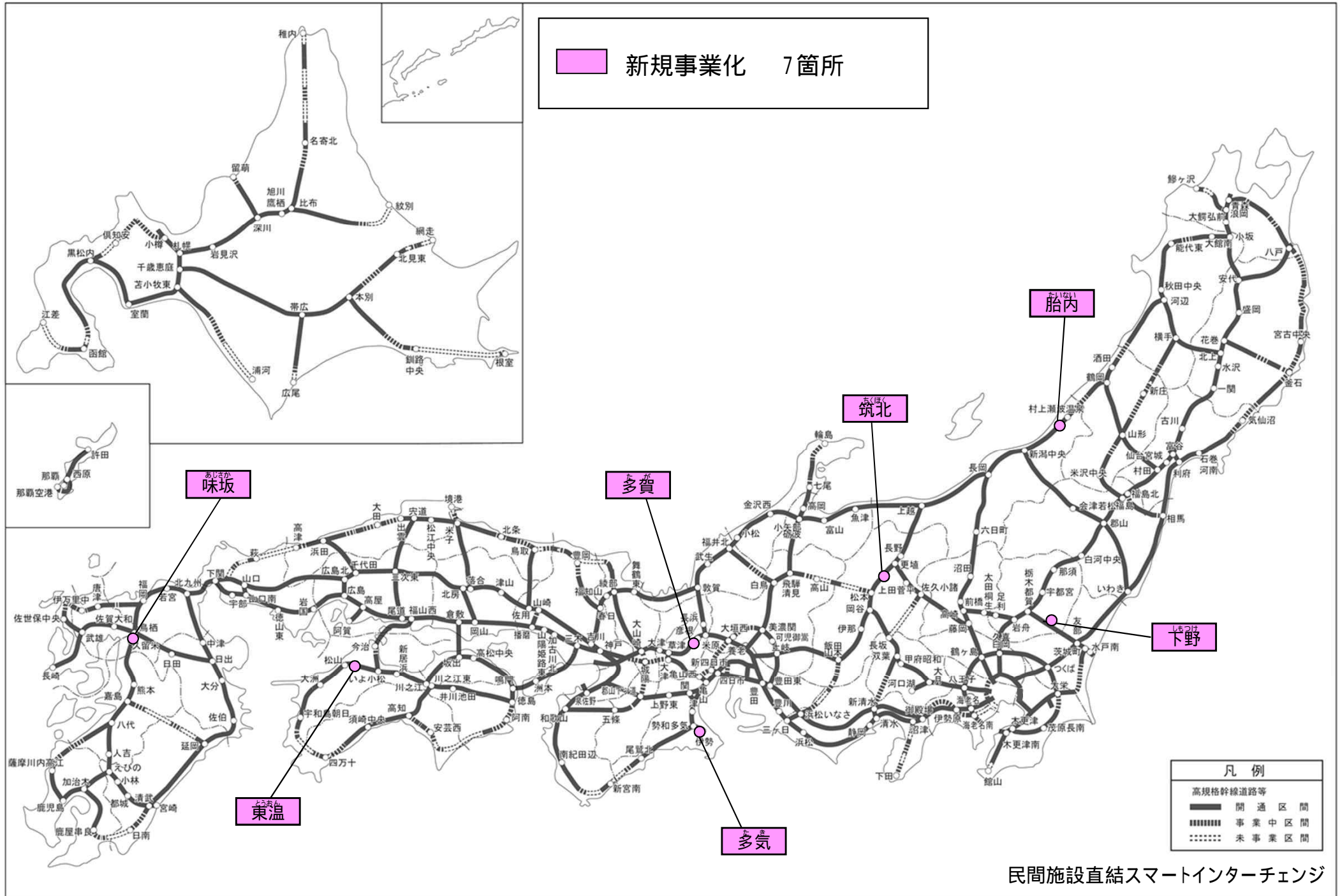
※<sup>3</sup> 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。

※<sup>4</sup> 民間施設直結スマートインターチェンジ

(高速道路と近傍に位置する大規模な物流拠点や工業団地、商業施設等の民間施設を直結するインターチェンジであり、民間企業の発意と負担により整備)

# スマートインターチェンジ新規事業化箇所図

別添





# スマートインターチェンジ<sup>※1</sup>新規準備段階調査箇所 一覧表

別添④

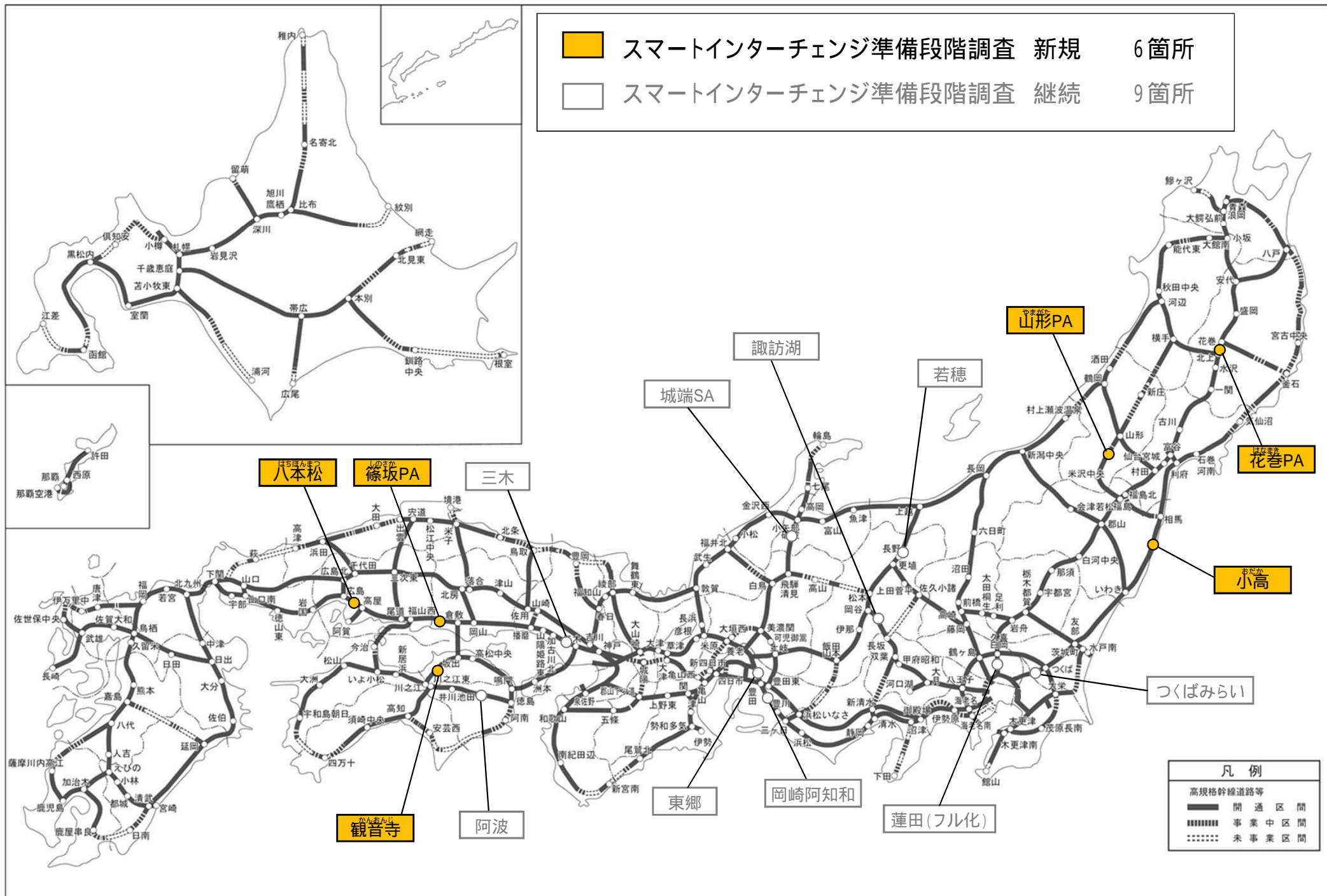
スマートインターチェンジの名称(仮称) <sup>※2</sup>	検討位置	路線名
はなまき 花巻PA	岩手県花巻市	東北縦貫自動車道弘前線(北上江釣子IC～花巻南IC間)
やまがた 山形PA	山形県山形市	東北中央自動車道相馬尾花沢線(山形上山IC～山形中央IC)
おだか 小高	福島県南相馬市	常磐自動車道(浪江IC～南相馬IC間)
しのさか 篠坂PA	岡山県笠岡市	山陽自動車道吹田山口線(笠岡IC～福山東IC間)
はちほんまつ 八本松	広島県東広島市	山陽自動車道吹田山口線(西条IC～志和IC)
かんおんじ 観音寺	香川県観音寺市	四国横断自動車道阿南四万十線(さぬき豊中IC～大野原IC)

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

# スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

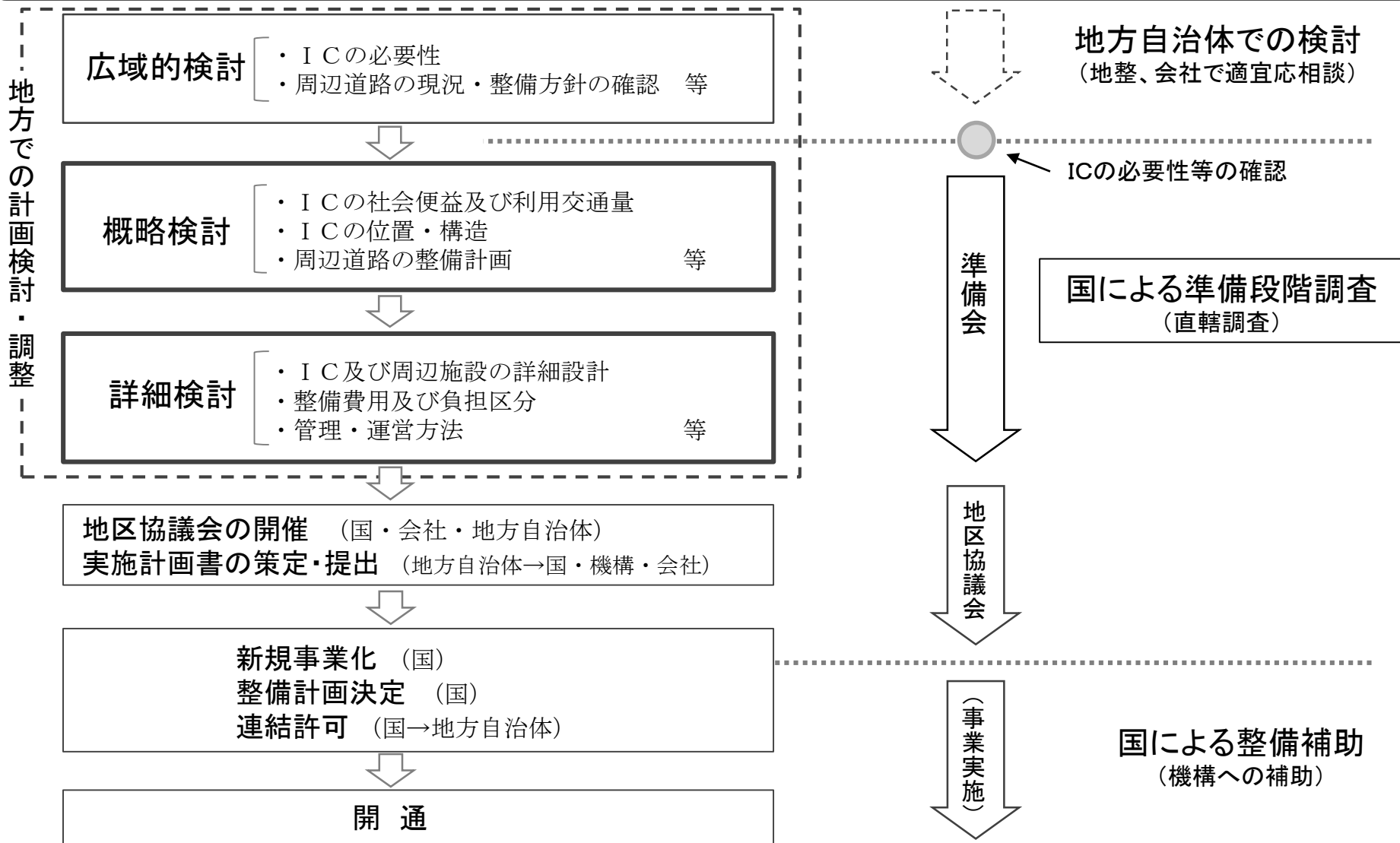
別添



# (参考)スマートインターチェンジの検討・整備について

別添④

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

## ■北関東自動車道 下野スマートIC(仮称)

### <概要>

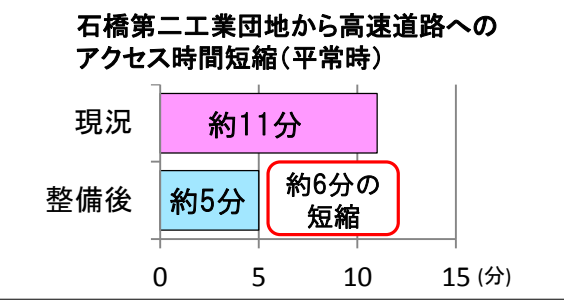
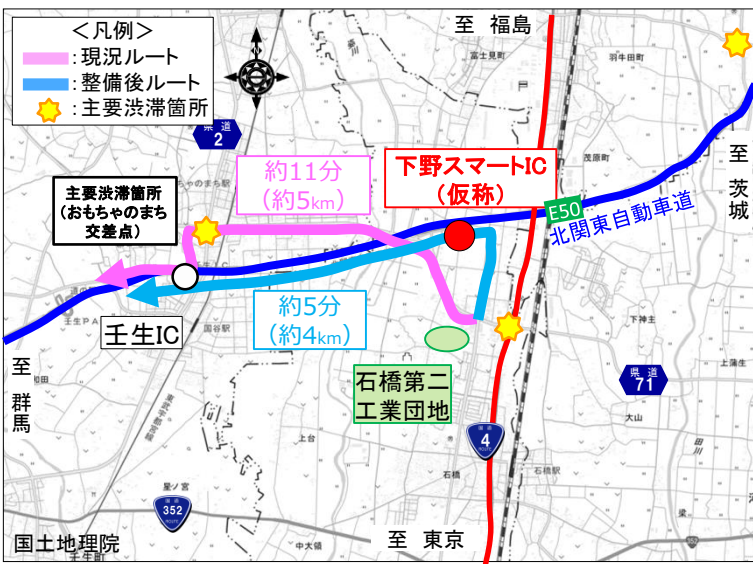
- 路線名 : 北関東自動車道  
(壬生IC～宇都宮上三川IC間)
- 設置場所 : 栃木県下野市
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

### <位置図>



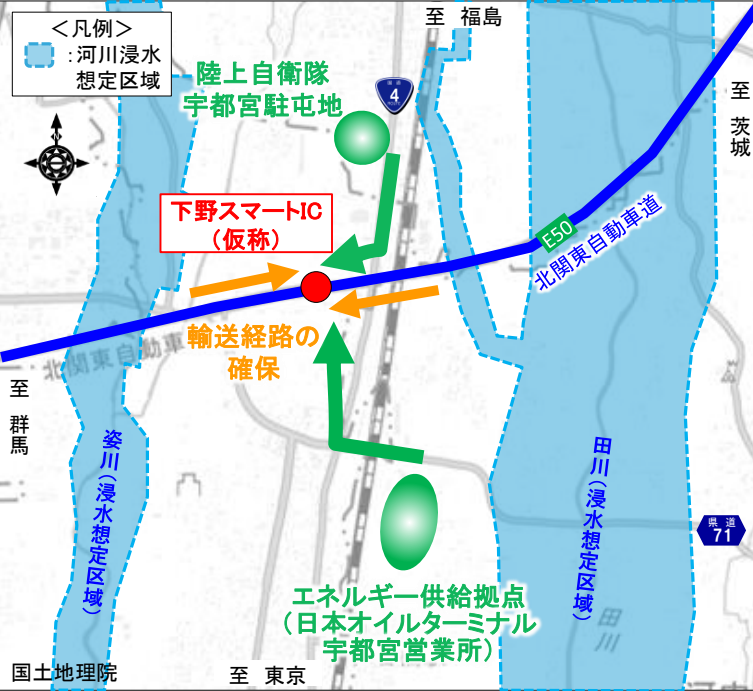
## 整備効果 交通分散による混雑緩和

・下野スマートICの整備により、周辺の工業団地から一般道の渋滞を回避した高速道路へのアクセスが可能となることから、交通分散による幹線道路の混雑緩和や高速道路へのアクセス時間短縮が期待される。



## 整備効果 災害時の経路確保

・下野スマートICの整備により、河川浸水想定区域を避けた高速道路通行が可能となるため、災害時の人命救助やエネルギー供給の強化、輸送経路の確保が図られる。



日本オイルターミナル 宇都宮営業所

- 【取扱品目】揮発油、灯油、重油等
- 【取扱量】貯留タンク20基 総容量 47,325KL
- 【搬出先】埼玉県など関東一円及び福島県

# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

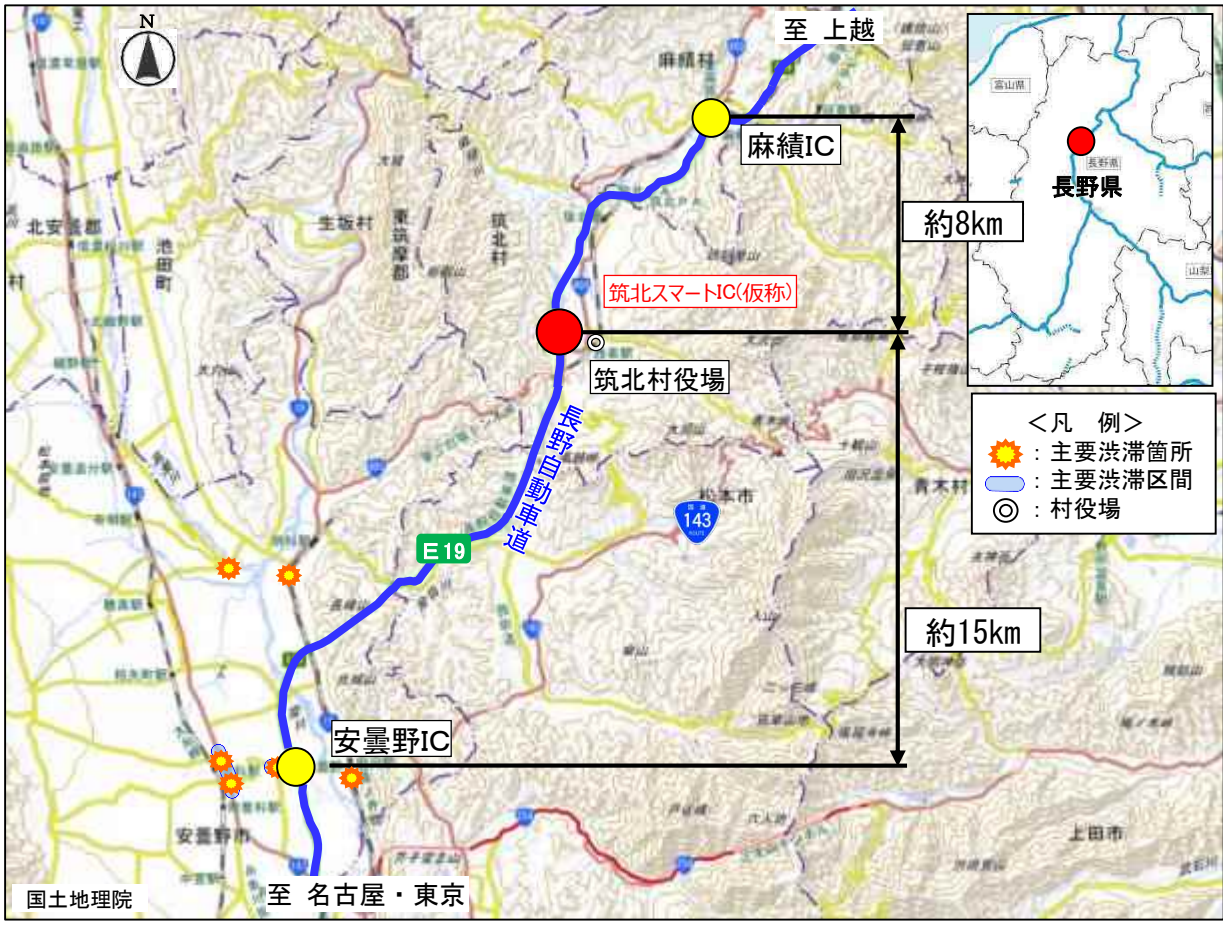
参考資料①

## ■長野自動車道 筑北スマートIC(仮称)

### <概要>

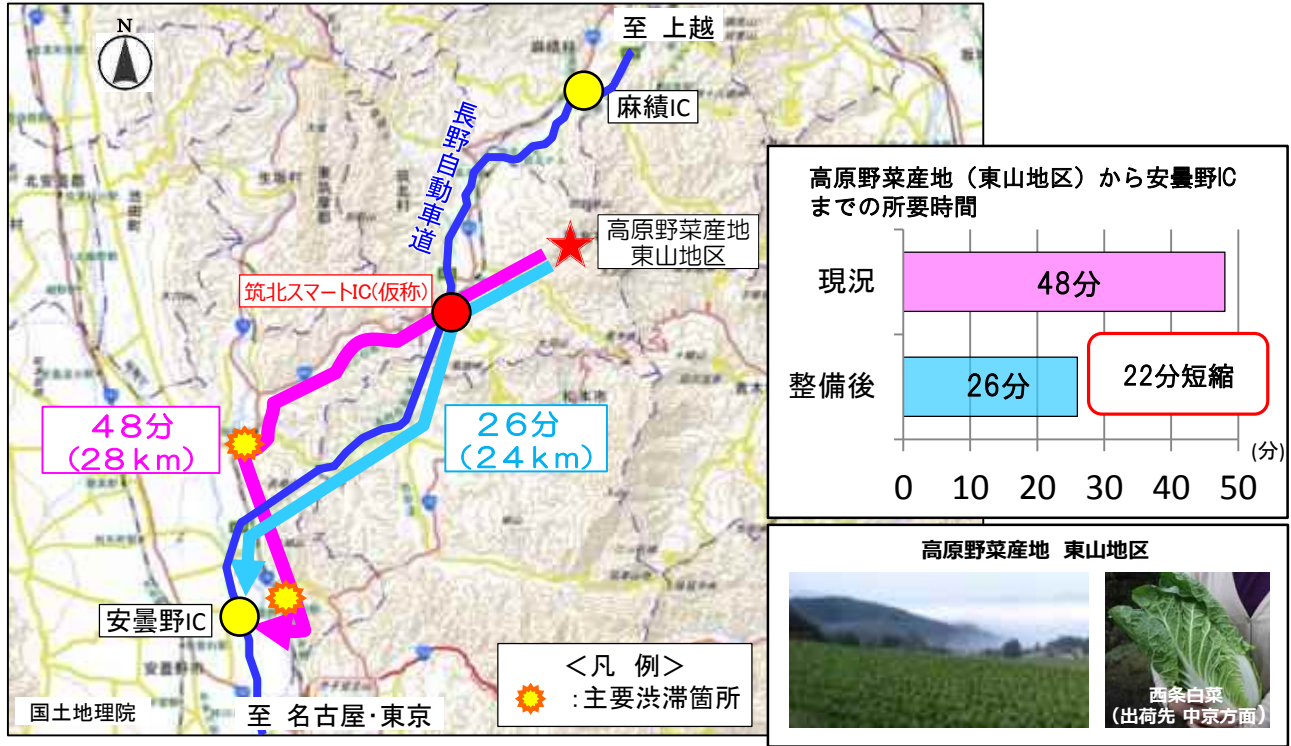
- 路線名 : 中央自動車道 長野線  
(安曇野IC～麻績IC間)
- 設置場所 : 長野県東筑摩郡筑北村
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

### <位置図>



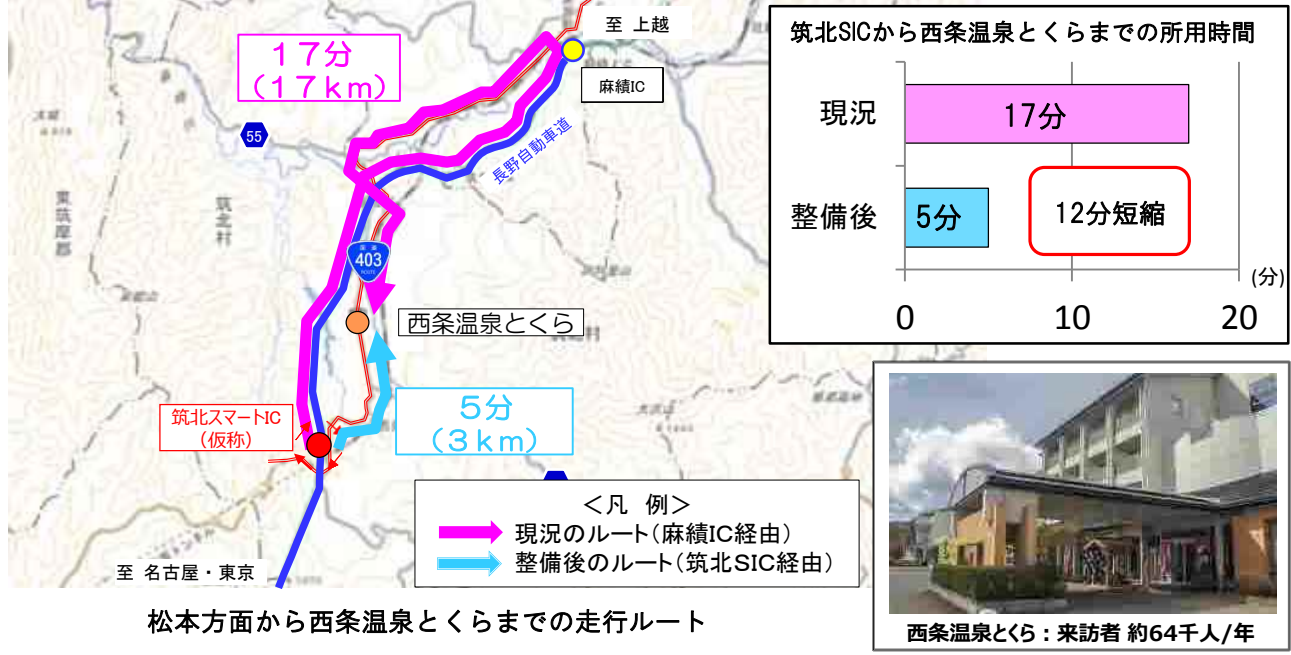
## 整備効果 物流効率化・産業振興

・筑北スマートICの整備により、高原野菜産地から高速道路へのアクセス時間が短縮され、物流の効率化による農産物の振興が期待される。



## 整備効果 観光振興

・筑北スマートICの整備により、観光地へのアクセス性・利便性が向上し、観光客の増加が期待される。



# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

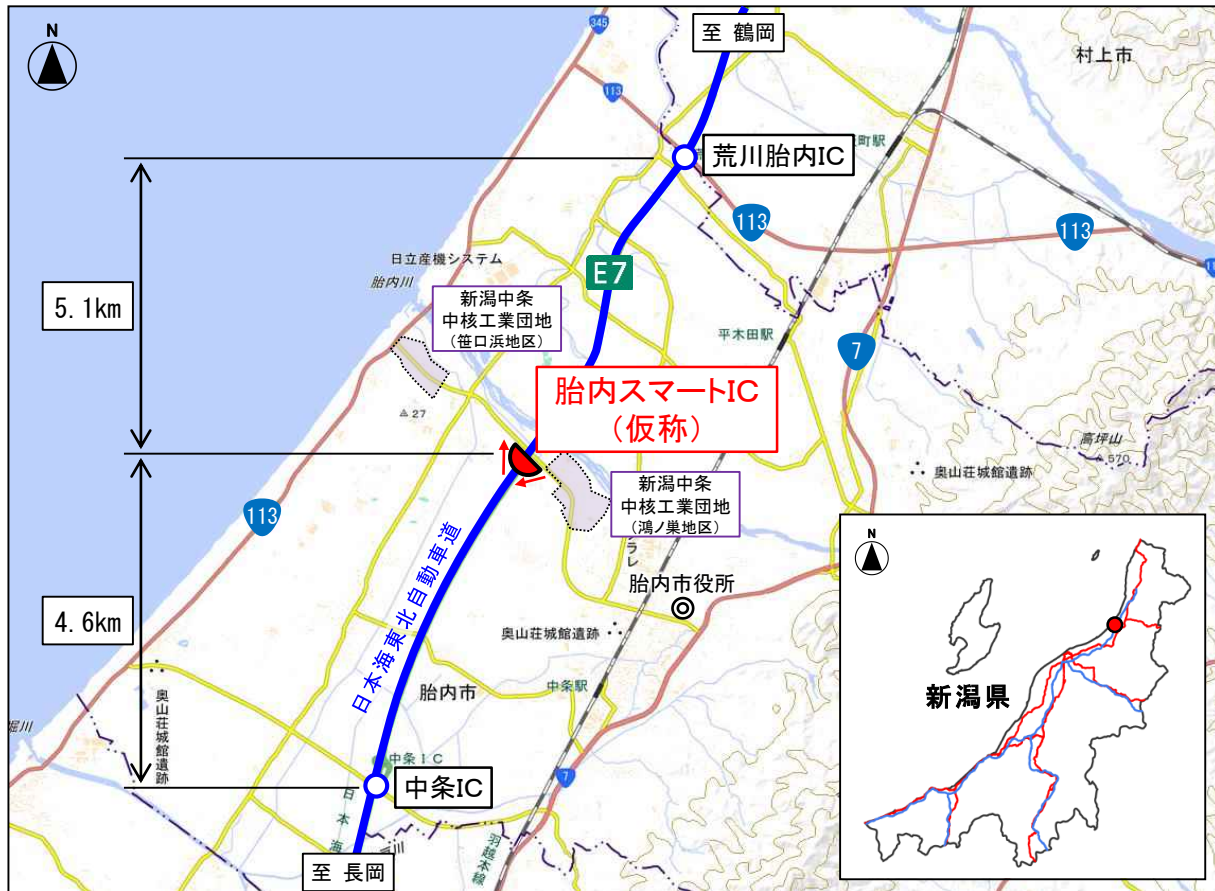
## ■日本海東北自動車道

### 胎内スマートIC(仮称)

#### <概要>

- 路線名 : 日本海沿岸東北自動車道  
(中条IC～荒川胎内IC間)
- 設置場所 : 新潟県胎内市
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 片方向 (2/4) (長岡方面)
- 運用形態 : 全車種 24時間

#### <位置図>



## 整備効果 救急医療活動への寄与

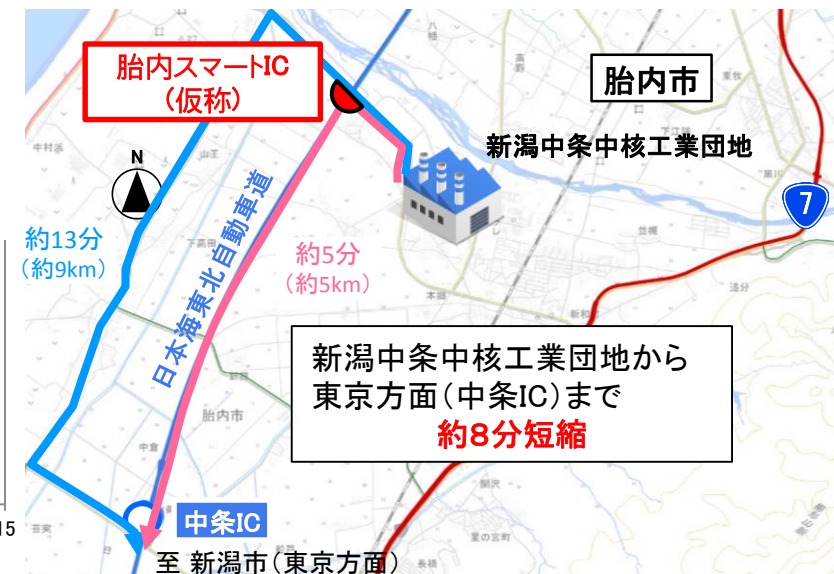
- 胎内スマートIC(仮称)の整備により、胎内市内で就業人口が多い新潟中条中核工業団地周辺から三次救急医療施設である「県立新発田病院」までの搬送時間が**9分短縮**し、**救急活動の支援に寄与**することが期待。



## 整備効果 地域産業の活性化(企業立地促進・雇用創出)

- 胎内市には、世界のトップ企業(航空関連)とその関連企業が存在する。
- 胎内スマートIC(仮称)の整備により、工業団地から高速道路へのアクセス性が向上し、**更なる企業立地の増加および新規雇用の創出、地域の活性化**が期待。

### 新潟中条中核工業団地から東京方面へのアクセス時間



# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

参考資料

## 名神高速道路 <sup>たが</sup> 多賀スマートIC (仮称)

### < 概要 >

路線名：中央自動車道西宮線

ひこね こうとうさんざん  
(彦根IC ~ 湖東三山スマートIC間)

設置場所：滋賀県犬上郡多賀町

接続形式：上り;本線直結型、下り;SA・PA接続型

形式：全方向 (4/4)

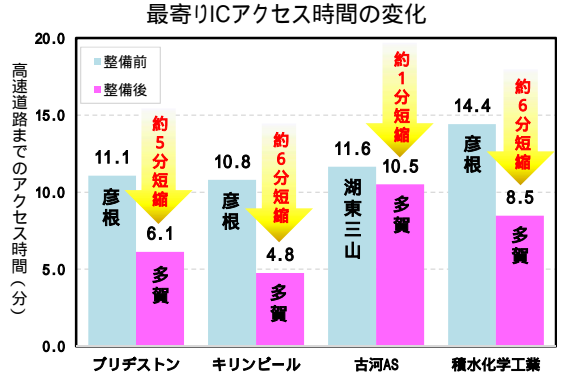
運用形態：全車種 24時間

### < 位置図 >



### 整備効果 物流効率化・産業振興

・多賀スマートICの整備により、高速ICまで10分以内でアクセス可能となる事業所が増加し、物流の円滑化による生産性の向上が期待できる。



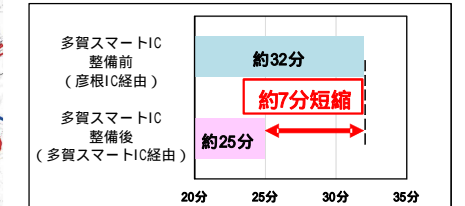
### 整備効果 救急医療活動への寄与

・多賀スマートICの整備により、多賀町中心部から第三次救急医療施設に短時間で安定した搬送が可能となり、救急医療活動に大きく寄与。

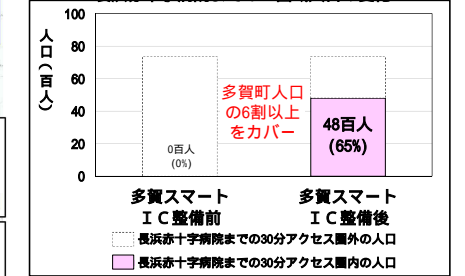
[効果例] 多賀町役場から長浜赤十字病院 (第三次救急医療施設) へのアクセス時間の短縮  
整備前: 約32分 整備後: 約25分 (約7分短縮)



多賀町役場から長浜赤十字病院までの所要時間



長浜赤十字病院までの30分圏域人口の変化



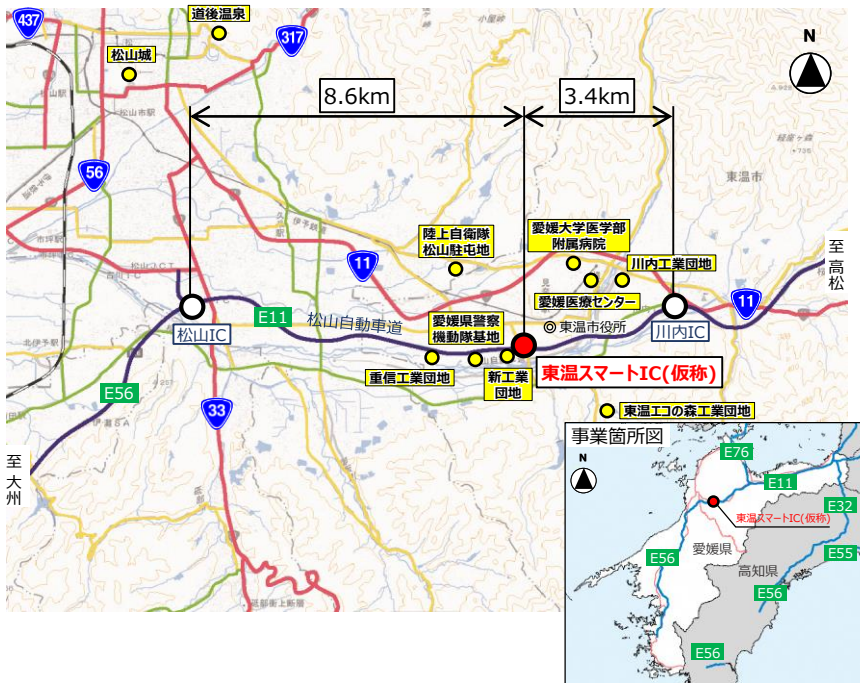
# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

## ■松山自動車道 東温スマートIC (仮称)

### <概要>

路線名	: 四国縦貫自動車道 (川内IC～松山IC間)
設置場所	: 愛媛県東温市
接続形式	: 本線直結型
形式	: 全方向 (4/4)
運用形態	: 全車種 24時間

### <位置図>



### 整備効果 救急医療活動への寄与

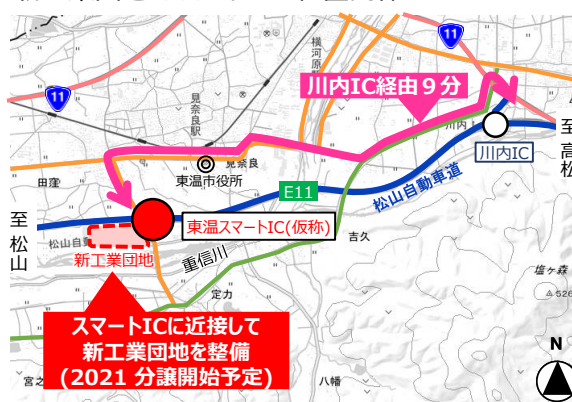
・東温スマートICの整備により、松山IC以西から第三次救急医療施設(愛媛大学医学部附属病院)への搬送時間が短縮し、医療サービスの向上に寄与する。



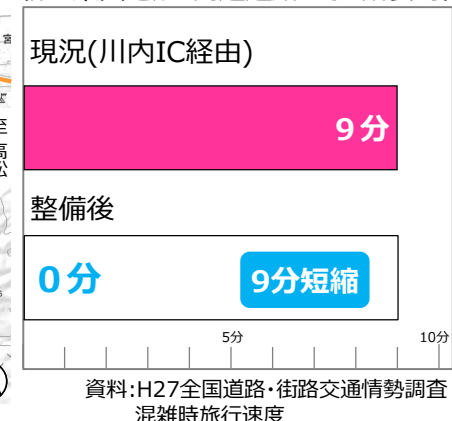
### 整備効果 地域産業の活性化

・東温スマートICの整備により、新たに整備される工業団地から高速道路へのアクセス性が向上し、企業誘致の促進・雇用創出など産業活動の活性化が期待される。

#### 新工業団地とスマートICの位置関係



#### 新工業団地から高速道路までの所要時間





# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

## 九州自動車道 味坂スマートIC（仮称）

### <概要>

路線名：九州縦貫自動車道鹿児島線  
 （鳥栖JCT～久留米IC間）

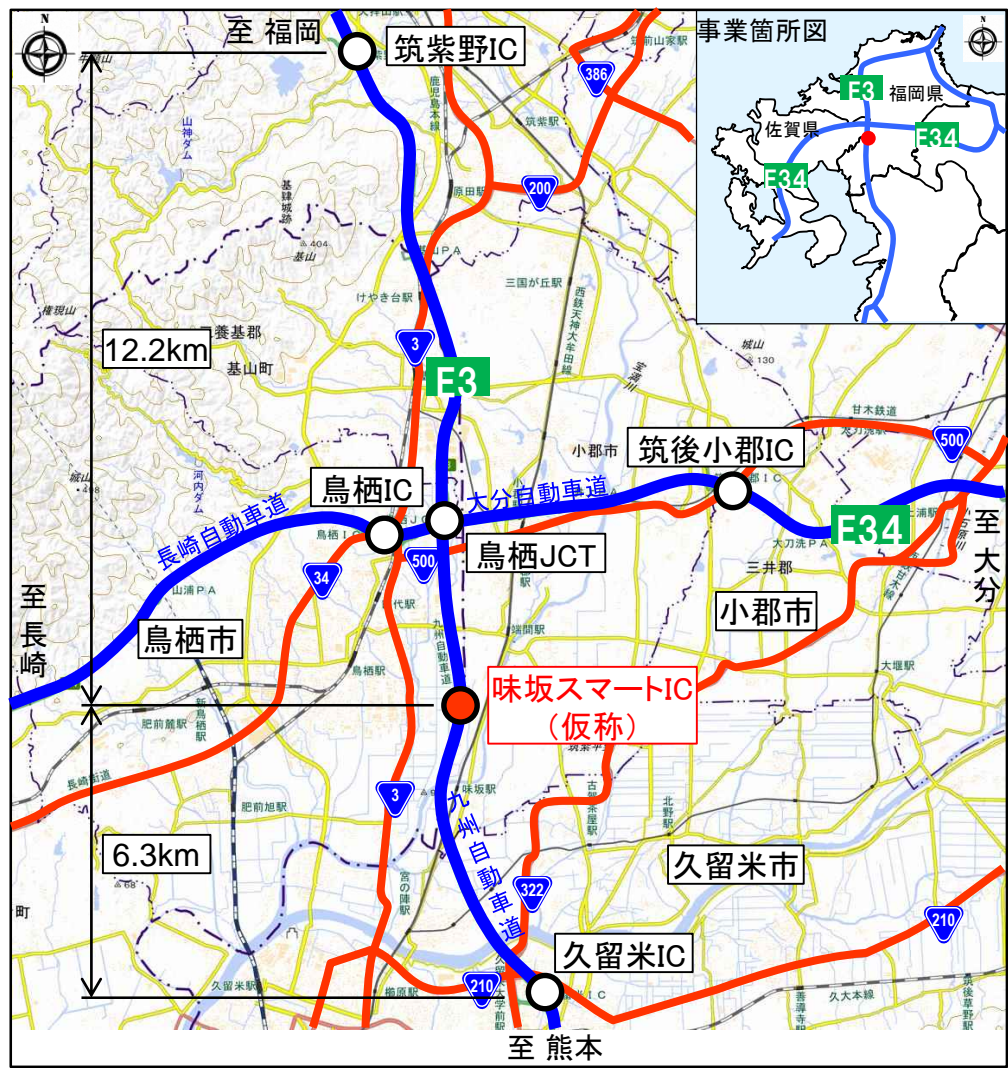
設置場所：福岡県小郡市福童

接続形式：本線直結型

形式：全方向（4/4）

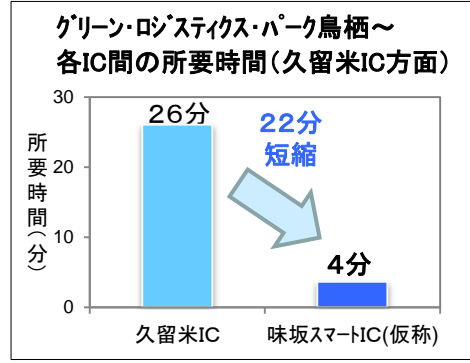
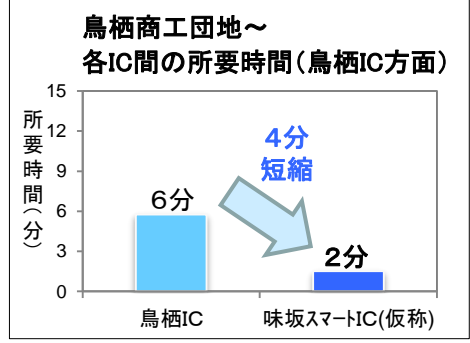
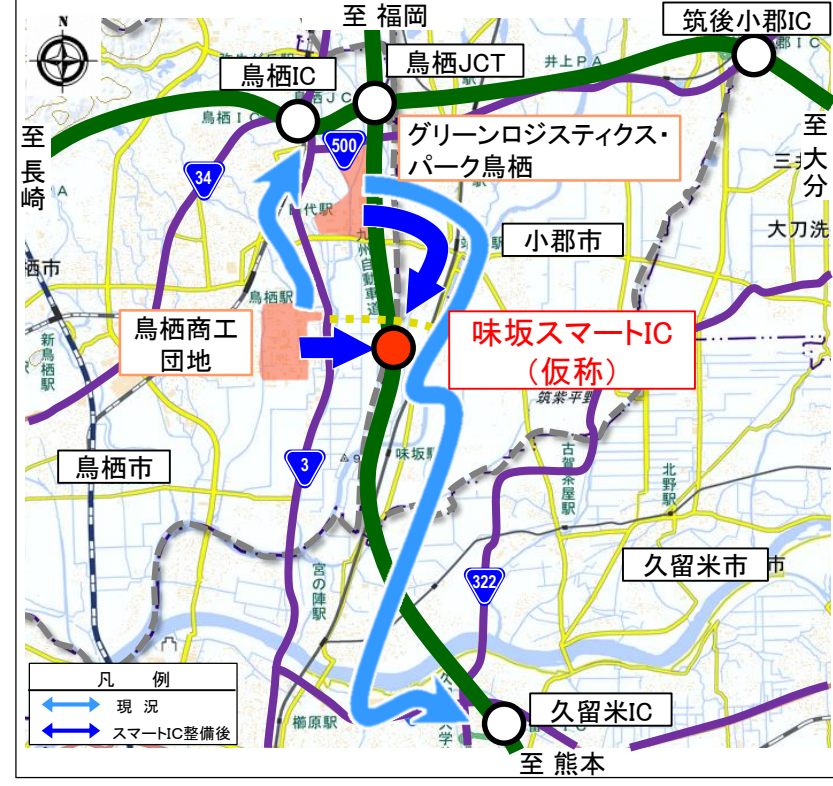
運用形態：全車種 24時間

### <位置図>



## 整備効果 物流効率化

- 味坂スマートIC（仮称）の整備により、物流拠点から高速道路ICへの所要時間が短縮し、沿線の物流の効率化に寄与する。
- 高速道路利用者の交通分散により、現道の交通混雑の緩和が図られ、高速道路へのアクセス向上が期待される。



## 整備効果 周辺開発・企業誘致の促進

- 味坂スマートIC（仮称）の整備により、当該IC周辺の開発・企業誘致が促進され、鳥栖市東部地域及び小郡市南部地域の活性化が期待される。



開発箇所	状況
鳥栖市	産業基盤整備地区 一部供用
鳥栖市	新産業集積エリア整備事業 整備中
鳥栖市	開発地区 一部供用
小郡市	小郡マイタウン拠点地区 一部供用
小郡市	小郡リバーパーク拠点地区 整備中
小郡市	産業・業務的利用ゾーン 構想中

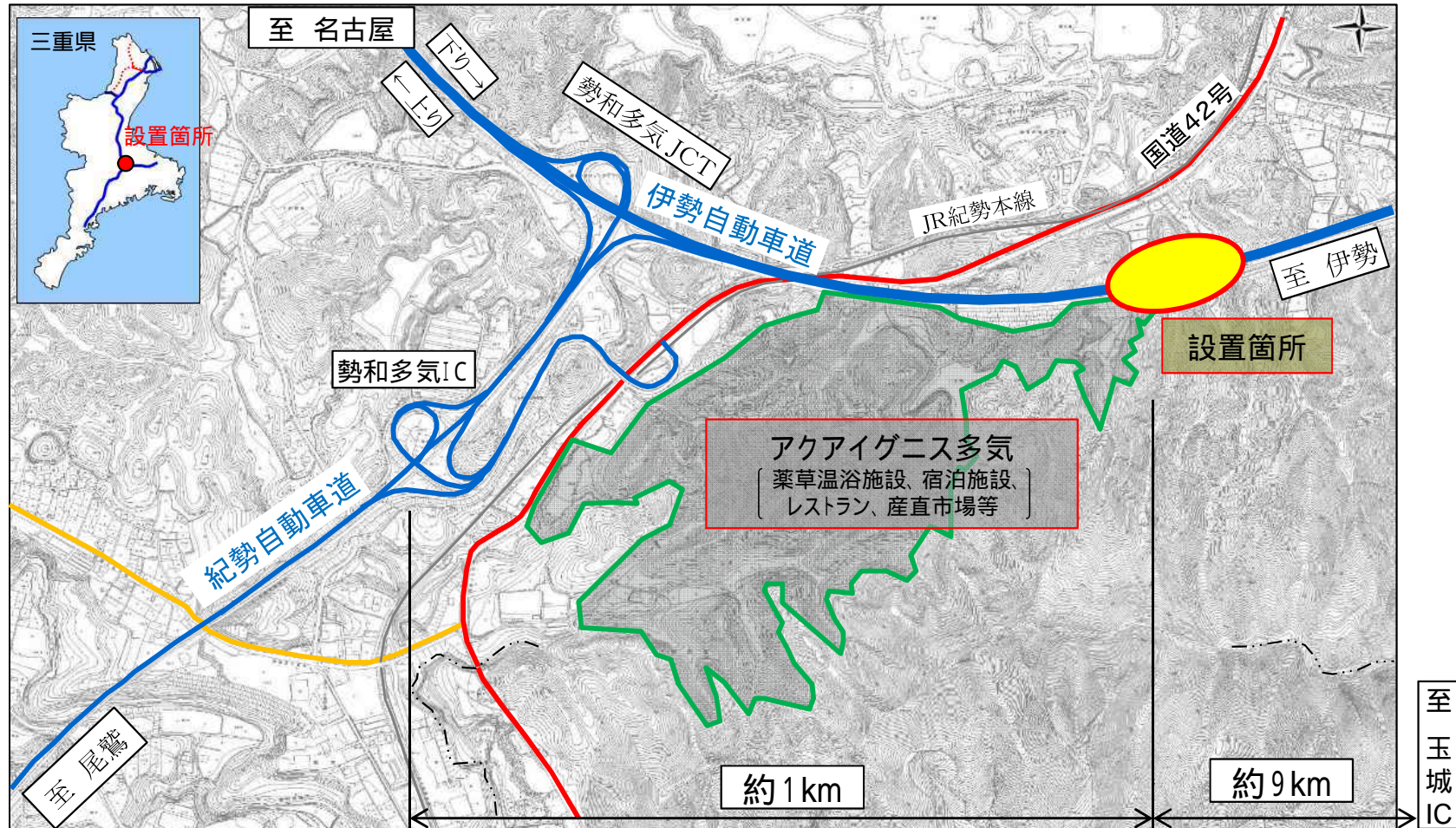
# 民間施設直結スマートインターチェンジ 新規事業化箇所概要

## < インターチェンジの概要 >

路線名 : 近畿自動車道伊勢線<sup>いせ</sup>  
 検討位置 : 三重県多気郡多気町<sup>たき たき</sup>  
 構造形式 : 1 / 4IC (名古屋方面出口)  
 運用時間 : 24時間  
 対応車種 : 全車種 (ETC車)

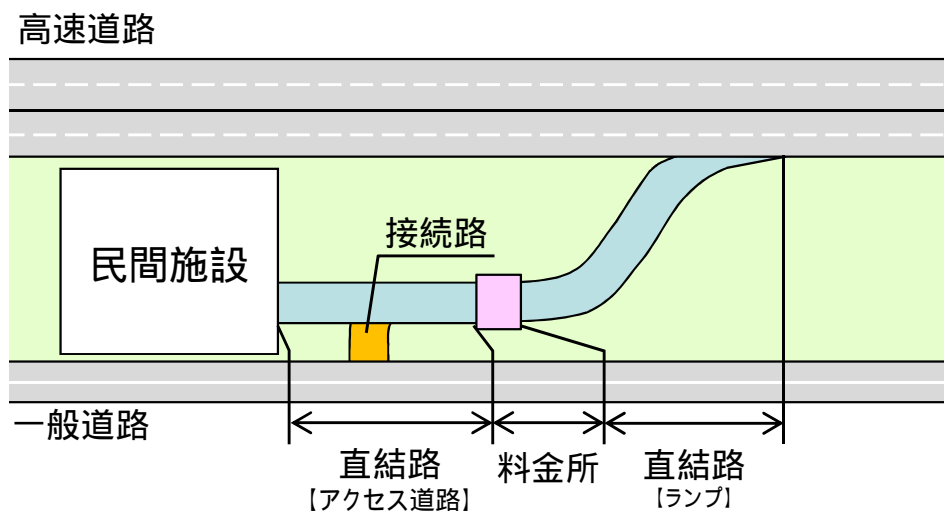
## < 高速道路と直結を予定する民間施設の概要 >

施設名 : アクアイグニス多気<sup>たき</sup>  
 [薬草温浴施設、宿泊施設、レストラン、産直市場等]  
 会社名 : 合同会社 三重故郷創生プロジェクト<sup>みえふるさとそうせい</sup>  
 [(株)アクアイグニス、イオンタウン(株)  
 ファーストブラザーズ(株)、ロート製薬(株)]



- 【目的】 高速道路と近傍の民間施設を直結するインターチェンジを民間企業の発意と負担による整備を可能とすることで、高速道路を活用した企業活動を支援し、経済の活性化を図る
- 【対象施設】 大規模商業施設、工業団地、物流施設 等
- 【対象交通】 主として民間施設に発着する交通(一般交通も利用可能)
- 【運用形態】 ETC車限定 ハーフIC・1/4ICも可

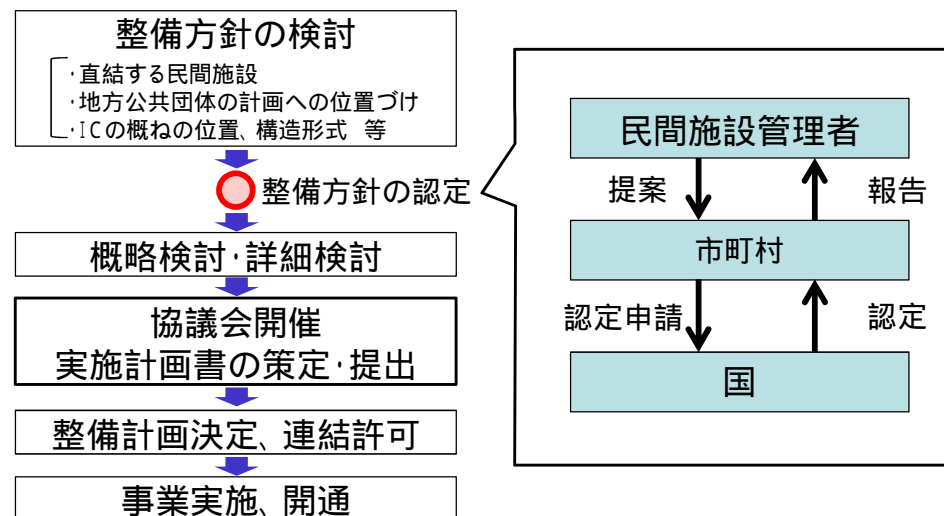
## < 役割分担 >



直結路 アクセス道路・ランプ	料金所	接続路
民間施設管理者	高速道路会社	地方公共団体

直結路は、整備後に民間施設管理者から地方公共団体に無償譲渡し、地方公共団体が維持管理

## < 進め方 >



## < インターチェンジ名称 >

民間施設名を用いた名称をつけることが可能

